

令和3年度 各専門部会・プロジェクト状況等報告書

1. 名称 【 暮らし支援部会 】

2. 部会員数 【 44 名】令和4年5月9日時点

3. 令和3年度の開催回数

4月			5月			6月		
会議	1	回	会議	1	回	会議	1	回
参加者	24	名	参加者	27	名	参加者	23	名
7月			8月			9月		
会議	1	回	会議	1	回	会議	1	回
参加者	23	名	参加者	21	名	参加者	23	名
10月			11月			12月		
会議	1	回	会議	1	回	会議	1	回
参加者	25	名	参加者	18	名	参加者	25	名
1月			2月			3月		
会議	1	回	会議	1	回	会議	1	回
参加者	23	名	参加者	20	名	参加者	17	名

会議開催総回数 12 回

参加者総数 269 名

(上記のうちオンライン会議 5回)

4. 令和3年度の活動内容について

今年度もコロナの影響を受けて集合での会議ができないことが多かったが、その場合はオンラインでの会議を行ったので、毎月定例会を開催することができた。

年度前半は2班に分かれ、①「避難所での必要な配慮」の作成と、②福祉サービス事業所における「災害に関する取組み状況調査」を行った。

①については、障がいの種類や災害時の困りごと、及び一般避難所でこんな配慮があるとみんなが安心して避難できる場所になるという具体例を示した。主に地域住民への啓発として地区社協や民生委員地区会長等に配布。宮崎市のホームページにも掲載している。これを活用して研修会を開催した地区もある。

②については、宮崎市内の障がい福祉サービス全事業所を対象として、災害時の不安や備え、利用者への投げかけ、地域との連携等について質問。300か所中100事業所から回答があり、そのまとめ及び考察を全事業所にフィードバックした。また、地域にも事業所の状況や考えを知ってもらうために、地域用のまとめをつくり、地区社協に配布した。

5月に国が法改正に伴う福祉避難所運営ガイドラインの改正を行ったことを受けて、福祉避難所における問題点を抽出した。

5. 令和4年度の活動予定について

☆福祉避難所のスムーズな開設、運営に向けた取組み☆～福祉避難所がいざという時に機能するようにまず、唯一の指定福祉避難所である生目の杜遊古館での福祉避難所運営シミュレーションを行政と協力して行いたい。また70超ある協定福祉避難所の状況を調査し、課題や改善方法等を検討していく。

☆地域との連携強化☆～様々な障がいへの理解を深め、災害時の支援体制をつくるために、地区ごとの勉強会や座談会、避難訓練等を協働して開催する。

☆当事者へのアプローチ☆～災害に関する備えを直接アプローチする方策を検討。及び当事者団体、家族会への働きかけを行う。

☆個別避難計画の作成推進☆～各地区で開催される情報交換会等を活用し、地域の支援者が障がいのある人の情報把握および情報共有を行い、福祉専門職と地域が一緒になって支援計画を作成できるようになげかけをしていく。

☆その他、日常生活での困りごと等を取り上げ検討していく予定